

2025_1211 「天空のカラー寒天」日々の理科 4141 号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

埼玉県小川町に住んでいた祖母（母の実母）は、お正月やお盆など、親戚が大勢集まる時に、必ず寒天菓子を作つて出してくれました。食紅などで色をつけた緑と赤の2色の寒天を、四角く切つただけの素朴な手作りの菓子でした。味は少し甘いだけで、子どもには大して美味しくもないのですが、その透き通つた色がきれいで、私は何んとなくそれが出てくるのが楽しみでした。

通常のオーロラはほとんど緑一色なのですが、高いエネルギーが大気上層部に入り込むと、オーロラ上端に赤、下端に桃色が出現するのです。先日出現したオーロラは、まさに祖母の家で食べた、あの寒天の色でした。

（2025年12月中旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス駅／東京から遠隔観測）

